

# 三番瀬・海辺のボランティア講座＜第2期＞

## 第4回干潟観察と生物調査

2011年9月25日(日)

場所／市川市三番瀬塩浜案内所、人工干潟

### ＜スケジュール＞

- 8 : 3 0 開会、レクチャー 移動
- 9 : 0 0 行徳漁港から出港
- 9 : 1 5 人工干潟へ上陸、干潟観察と生物調査
- 1 1 : 3 0 帰港、三番瀬塩浜案内所へ移動
- 1 2 : 0 0 昼食、休憩
- 1 3 : 0 0 ソーティング、調査のまとめ
- 1 5 : 0 0 閉会

主催／特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター



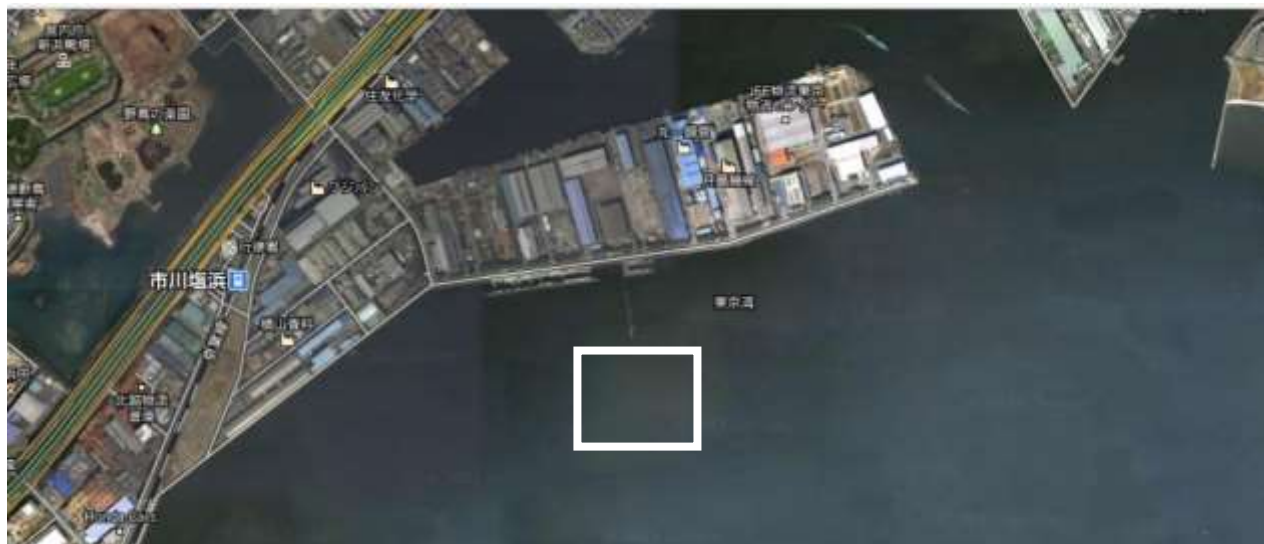
日本財団  
The Nippon Foundation

助成事業

## No. 5 人工干潟を考える

2011.06.18 みんなで見守り、いろいろと工夫しながらハスを育てていこう

### 1 人工干潟(旧潮干狩り場)について



昭和 57 年から 58 年にかけて、漁業者が航路の浚渫土砂などを用いて約 10 ヘクタールの干潟を造りました。さらに護岸から歩いて行ける大きな橋をつくり、潮干狩り場として、昭和 58 年から 61 年に一般に開放しました。そのときは大人気で、1 シーズンで 10 万人もの人が訪れたそうです。

しかし、陸側に駐車場や休憩場などの施設がなくて混乱して周辺企業から苦情がでたり、毎年青潮が発生するなど、4 年間で潮干狩り場としては閉鎖をしました。現在は、アサリの養貝をしたり、ワカメ・コンブの養殖をしたりなど、漁業者がさまざまな実験の場所として利用しています。造られて 30 年以上たった今、それなりの生物がついて干潟の機能は十分に果たしています。

### 2 干出するところが増えると、三番瀬の環境はよくなる

人工の干潟を造ればお金がかかるし、自然にできた干潟のほうがよいのは当たり前です。しかし、三番瀬は埋立や地盤沈下などで干出する場所がほとんどなくなってしまいました。人工でもいいから干潟を増やせば、生物が増えるし、干潟に酸素を増やすこともできて、今よりもずっと青潮に強い海になります。人間が入れるようになることも、三番瀬にとっては大事なことなのです。



## 三番瀬・海辺のボランティア講座&lt;第2期&gt;

## 第4回 「干潟観察と生物調査」 報告書

## 1. 日時、場所

実施日／平成23年9月25日（日）

時間／8：30～15：00

場所／三番瀬塩浜案内所、三番瀬・人工干潟

## 2. 参加者

参加者 13名

スタッフ 5名

## 3. スケジュール

| 時間    | 内容                 |
|-------|--------------------|
| 8：30  | 集合 事前レクチャー 行徳漁港へ移動 |
| 9：00  | 行徳漁港から出港           |
| 9：15  | 人工干潟へ上陸 観察、調査      |
| 11：30 | 帰港 三番瀬塩浜案内所へ移動     |
| 12：00 | 昼食、休憩              |
| 13：00 | ソーティング、調査のまとめ      |
| 15：00 | 解散                 |

## 5. 当日の様子



行徳漁港から船に乗りました



人工干潟に上陸



干潟の生物を観察しました



ミヤコドリの群れが観察出来ました



表面調査



掘り返し調査





コアサンプラーで採泥しました



採った砂をふるってふるいに残ったものを持ち帰ります



船にのって帰ります



ソーティング





観察と調査のまとめをしました



## 調査のまとめ

### 1. 調査日

2011年9月25日(日)

### 2. 調査地

三番瀬・人工干潟



### 3. 調査者

#### ・三番瀬海辺のボランティア

大谷浩人 大谷みなつ 金光じゅん用 金光なつき 金光弥思 金光弥慧  
小池美麻 内藤誠二郎 石川大貴 田所みや子 池田達夫 堀川梨沙  
石塚未希

#### ・特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター

福士融 石塚誠 小池理恵 小椋尾精一 町田恵美子

### 4. 調査方法

#### ・干潟で観察した生物の種類を調べた

#### ・表面調査／掘り返し調査

調査ポイントを決め、1mの枠を置いて、その中で観察できる生物の種類と数、また生物の活動の痕跡の種類と数を調べた。その後、スコップを使って深さ30cmまで掘り、砂の中から出てきた生物の種類と数を調べた。この調査を2ポイントで、それぞれ4回行った。

#### ・採泥調査

調査ポイントを1箇所決め、それぞれで直径10cmのコアサンプラーで30cmまでの採泥を3回行い、1mm目のふるいでふるい、残った生物を採取した

採集した生物は、ソーティング（拾い出しと分類）して、NPO三番瀬が標本にして、同定（生物の名前をつけること）と定量（数を数えて、重さを量ること）をした。





調査場所 人工干潟

調査ポイント



緯度 N35d 39m 53.9s  
経度 E139d 56m 21.6s

採泥ポイント



緯度 N35d 39m 53.9s  
経度 E139d 56m 21.6s

画像 ©2011 Cnes/Spa



5. 観察できた生物

|            |             |
|------------|-------------|
| 貝の仲間       | アサリ         |
|            | シオフキ        |
|            | カガミガイ       |
|            | バカガイ        |
|            | ミドリイガイ      |
|            | ムラサキイガイ     |
|            | ホトトギスガイ     |
|            | マテガイ        |
|            | ホンビノス       |
|            | サルボウ        |
|            | マガキ         |
|            | アアムシロ       |
|            | イボニシ        |
| エビ・カニの仲間   | ユビナガスジエビ    |
|            | エビジャコ科 S P  |
|            | アリアケドロクダムシ  |
|            | ユビナガホンヤドカリ  |
|            | イソガニ        |
|            | フジツボ S P    |
| ゴカイの仲間     | チロリ         |
|            | ミズヒキゴカイ     |
| 魚の仲間       | マハゼ         |
|            | ヒメハゼ        |
|            | サッパ         |
| イソギンチャクの仲間 | イショギンチャクの種類 |
|            | タテジマイソギンチャク |
| 海藻の仲間      | オゴノリ        |
| 鳥の仲間       | セグロカモメ      |
|            | ミヤコドリ       |
|            | ダイサギ        |
|            | ソリハシシギ      |
|            | カワウ         |



ポイント 1

天気：はれ 気温：24.0℃ 水温：26.0℃

表面調査

|            | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 合計 |
|------------|-----|-----|-----|-----|----|
| ホトトギスガイ    | 3   | 1   | 0   | 0   | 4  |
| スゴカイイソメ    | 0   | 1   | 0   | 0   | 1  |
| ユビナガホンヤドカリ | 0   | 0   | 1   | 0   | 1  |
| 穴          | 17  | 21  | 5   | 13  | 56 |

掘り返し調査

|        | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|----|
| アサリ    | 1   | 0   | 1   | 0   | 2  |
| シオフキ   | 0   | 0   | 1   | 0   | 1  |
| ゴカイの仲間 | 1   | 1   | 0   | 0   | 2  |

ポイント 2

天気：はれ 気温：22.0℃ 水温 27.0℃

表面調査

|            | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 合計 |
|------------|-----|-----|-----|-----|----|
| マガキ        |     |     |     | 多い  | 多い |
| シオフキ       | 0   | 0   | 0   | 1   | 1  |
| アラムシロ      | 1   | 0   | 0   | 0   | 1  |
| ホトトギスガイ    | 0   | 3   | 17  | 多い  | 多い |
| ユビナガホンヤドカリ | 0   | 0   | 1   | 6   | 7  |
| フジツボ       | 0   | 0   | 0   | 多い  | 多い |
| スゴカイイソメ    | 0   | 0   | 1   | 0   | 1  |
| ゴカイの仲間     | 0   | 0   | 0   | 1   | 1  |
| オゴノリ       | 1   | 0   | 0   | 1   | 2  |
| 穴          | 9   | 17  | 7   | 6   | 39 |

掘り返し調査

|         | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 4回目 | 合計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|----|
| アサリ     | 2   | 1   | 1   | 3   | 7  |
| シオフキ    | 5   | 3   | 4   | 0   | 12 |
| サルボウ    | 1   | 0   | 0   | 0   | 1  |
| バカガイ    | 0   | 0   | 2   | 0   | 2  |
| ゴカイ s p | 0   | 0   | 2   | 0   | 2  |








採泥調査

出現種

|          |            | 採泥ポイント1 |         | 採泥ポイント2 |          |
|----------|------------|---------|---------|---------|----------|
|          |            | 個体数     | 質重量 (g) | 個体数     | 質重量 (g)  |
| 貝の仲間     | ホンビノス      | 3       | 0.010   |         |          |
|          | ホトトギスガイ    | 1       | 0.056   |         |          |
|          | シオフキ       |         |         | 1       | 0.462    |
| エビ・カニの仲間 | クーマ        | 1       | 0.010   | 2       | 0.001 以下 |
|          | アリアケドロクダムシ | 8       | 0.015   | 1       | 0.001 以下 |
|          | メガロパ幼生     |         |         | 1       | 0.007    |
| ゴカイの仲間   | チロリ        | 1       | 0.023   | 3       | 0.069    |
|          | スピオ科 S P   |         |         | 1       | 0.006    |

|   |         |
|---|---------|
|   | ホンビノス   |
|  | ホトトギスガイ |
|  | シオフキ    |

|   |            |
|---|------------|
|    | クーマ        |
|    | アリアケドロクダムシ |
|   | メガロパ幼生     |
|  | チロリ        |
|  | スピオ科 S P   |